

生物部

私たちは基本的な活動として、自由に生物の飼育・研究を行っています。米原高校周辺は自然が豊かなため、多くの生物が生息しており、対象には事欠きません。放課後は野外での活動も行えます。

研究テーマは部員の興味・関心に沿って、毎年様々ですが、3月に行う「ヤマトサンショウウオの卵のう調査」は継続しています。「ヤマトサンショウウオ」とは里山の代表的な生き物で、約10cm程度の有尾の両生類です。近年、開発などが進み、絶滅を危惧されていますが、本校周辺には生息地が残っており、継続調査をしています。

今までの研究テーマには、アメリカザリガニの体色変化、周辺に住む地衣類・粘菌類の種類、セイタカアワダチソウのアレロパシー効果、メダカの学習能力、ヤマトサンショウウオの卵膜の効果、ジャガイモの緑化防止、植物の耐塩性、カワムツの行動、などがあります。

【目標】

生物に興味と愛着をもって、飼育・研究する。

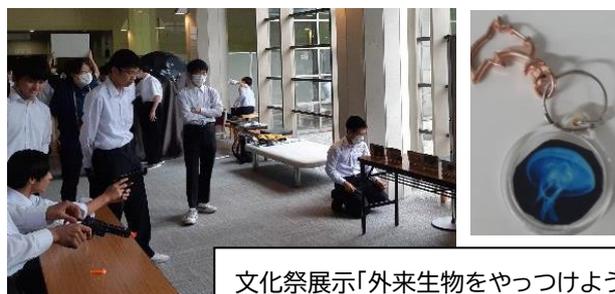
【年間行事】

6月：春季大会(高文祭)・学園祭

8月：ウミホタル採集

10月：研究論文作成・秋季大会(高文祭)

3月：ヤマトサンショウウオ卵のう調査



文化祭展示「外来生物をやっつけよう」
「クラゲキーホルダー」

【部員】令和5年12月現在

1年：7人 2年：11人

【活動日時】

平日：毎日(18:00まで)

休日：なし

【活動場所】

生物教室(理数棟1階)



天野川で水生生物観察

【令和5年度の主な成績】

・全国総文祭鹿児島大会参加

口頭発表「植物の耐塩性を上げるには」

・秋季総文祭

口頭発表

「カワムツの飛び跳ね行動が起こる条件について」

読売新聞社賞受賞



秋季大会での発表の様子



【部長から】

「研究」というと難しいと感じるかもしれませんが、好きなことができるから楽しいです。

勉強との両立もできるので、皆さんも生物が近くにいる生活を送ってみませんか？

生物に興味のある人は、是非、生物部へ

生物教室で待ってます。